

Scientific Illustration



研究をひとめで伝える 科学イラストセミナー



2019年5月31日（金）

15:00～16:30

京都大学 吉田キャンパス 医学部構内
芝蘭会館 稲盛ホール*

医学部構内マップ No.21

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_i.html

*会場を学術研究支援棟地下会議室から変更しました。

Introduction

科学イラスト（=Scientific Illustration）は、科学的な知識を分かりやすく描いた説明図のことです。研究内容をひとめで伝えることができ、論文やプレスリリース、研究発表等、研究内容・研究成果を伝えるのに幅広く活用され、多くはプロのアーティストの方が制作されています。

本セミナーでは、作品を制作されているアーティストの方をお招きし、科学イラストの説明から、実例に基づいた制作のプロセスやポイント、制作例をご紹介します。

科学イラスト (=Scientific Illustration) とは？

- 科学イラストの歴史と現状
- イラストの種類と活用の方

作品制作プロセスと制作時のポイント

- 制作の手順、納期・費用・著作権について
- 制作前にどんな準備が必要か
- 依頼者（研究者）と制作者（アーティスト）、双方にとってスムーズな制作の進め方
- 制作事例の紹介

アーティストの方への質疑応答

Artist

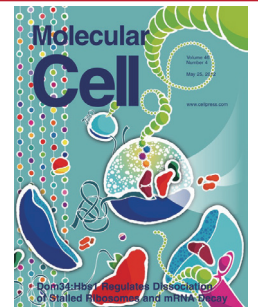
1 奈良島 知行 氏

30年以上にわたってアメリカの科学イラストレーションの第一線で活躍した。生理学の教科書「Human Physiology」など多数の教科書をはじめ、科学誌「Science」などの表紙絵も数多く手がけている。国内でも京都大学 iPS 細胞研究所の「幹細胞ハンドブック」など多くの大学・研究機関、教科書、図鑑、科学雑誌にイラストを提供している。



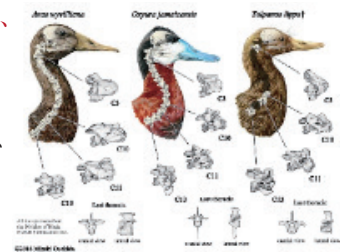
2 ウチダヒロコ 氏

奈良女子大学理学部生物科学科で生命現象の基礎を学ぶ。カラフルな明るい色調のイラストが持ち味で、生物学の専門知識を活かした細胞や生体分子の描写に定評がある。「Molecular Cell」などの学術誌や中学・高校教科書のイラストも手がけ、学会ポスターのデザインも好評。



3 大内田 美沙紀 氏 (京都大学 iPS 細胞研究所 サイエンス・コミュニケーター、成安造形大学非常勤講師)

広島大学理学博士。2010年に渡米し、ワシントン大学で人類学修士号を取得する傍ら、サイエンス・イラストレーションの専門コースを受講。卒業後コーネル大学鳥類学研究所やスミソニアン国立自然史博物館で経験を積み、2016年に帰国。古生物を含むさまざまな生物の正確かつ色鮮やかなイラストに加え、生命科学や医学の分野でも作品を制作している。



参加費無料・事前申込制

先着 150 名

右の QR コード、または下記 web site からお申込み下さい
<https://forms.gle/nKnWZhgEwsF5WjqNA>



主催：京都大学 次世代研究創成ユニット (K-CONNEX)
京都大学 国際広報室
京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (WPI-ASHBi)
お問合せ：京都大学 次世代研究創成ユニット (K-CONNEX)
E-mail support@k-connex.kyoto-u.ac.jp

